



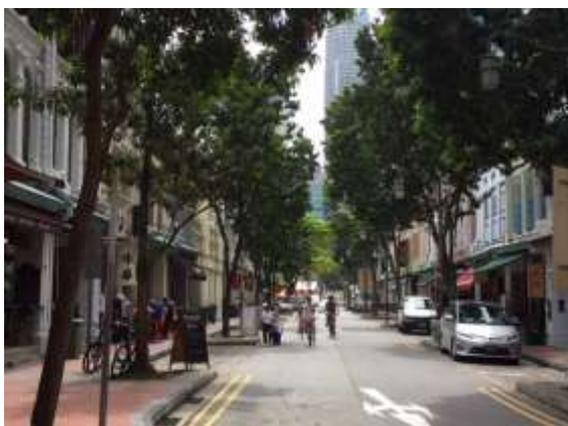
シンガポール長期滞在中の武藤友紀教諭（数学科）のレポートです！

【街並みについて】

ガーデンシティと呼ばれているだけのことはあり、街路樹は計画的に植えられています。歩道橋にもつねにかわいい花が咲いていて、街を彩っています。電線は全て地中にあり、街がスッキリとキレイです。政府の都市計画のうまさを感じられます。

国土の少ないシンガポール。それでも住宅需要はまだまだ高いらしく、高層コンドミニウム(日本でいうマンション)が至る所で建設中です。また、どこに行くのも便利な地下鉄(MRT)はシンガポールのあらゆる所を通っているのにも関わらず、絶賛拡張工事中です！

高層ビルとマーライオン（右写真）



かつてタンジョンパガー港はシンガポールの玄関口であり、あまりきれいとは言えない地域だったようですが、今はマレー文化と中華文化が融合したプラナカンの街並みが続き、電線一つない街路樹の美しい地区になっています。初代首相のリークアンユーの選挙区だったこともあり、高級 HDB もそびえ建っています。

チャイナタウンからタンジョンパガーへの街並み（左写真）

【教育について】

シンガポールには、NUS(シンガポール国立大学)を筆頭に世界有数の大学があり、その教育水準の高さが有名です。その下支えとなっているのは、小学校卒業時に人生が決まると言われている卒業試験かもしれません。

この試験の結果で、どの中学校に行くのかが決まるので、シンガポールのローカル小学校の生徒は、学校が終わる午後 2 時頃からずっと塾に行くそうです。確かに、外で遊んでいる小学生はあまり見かけません。暑さのため日中に外で遊んでいる子ども自体いませんが。

そして、幼稚園！ ローカル幼稚園では、K1(年中組)から本格的に英語と中国語の読み書きが始まり、宿題も課されるそうです。うちの次男は 7 月から 2 ターム(1 タームは 10 週)午前中 3 時間だけローカル幼稚園に通いましたが、準年少のプレナースリーにして英語と中国語の勉強の前段階が始まっていました。そして、学期末にはその到達度を懇談会で知らせてくれました。

もちろん、英語と中国語の到達度だけではなく、工作がどれほどできるか、ハサミが使えるか、手を洗う・トイレに行くなどの身の周りのことがどれほどできるかなども、3段階できちんと評価したものを通知表のようにして渡してもらえました。長男の日本人幼稚園では、そんなことは全くありませんし、日本の幼稚園にもないですよ？むしろ日本の小学校の成績通知表よりも明確なもので驚きました。

日本の小学校では、あまり差が出ないように・・・と配慮されている感じですが、シンガポールでは、「ここができています。このまま伸ばしましょう。ここは不十分です。○○○のような対策をとって伸ばしましょう」という懇談会の主旨も明確でした。

シンガポールは多民族国家のため、共通語としての英語を学校で学ぶそうです。そして中国語。これは中華系の人約74パーセントを占めていることによるものではないでしょうか。いわゆるシンガポール英語といわれる、シングリッシュは街中でよく聞こえますが、こちらの公立学校の教師はシングリッシュではない英語を扱えるようにきちんと試験を受けているそうです。

うちの次男の幼稚園の先生の英語も実に聞き取りやすいきれいな英語を話されます。ローカル校は幼稚園の頃からしっかりと評価を受けるということに関しては、幼いうちから自分の得意な分野、苦手な分野を知り、自己を知るという点ではよいことなのかなと感じます。これは日本とは違い、他人との差異はあって当然だという、多民族国家の考えが根底にあるように思います。(インドでは、人との違いを出さないと大勢の人の中に埋もれてしまうから、自分をアピールすることはとても大切と教えられていると聞きました。)

また、少し論点はずれますが、幼い頃からのしつけの観点で考えると、長男の日本人幼稚園の園長先生(今年4月まで日本の公立小学校の校長先生)に勧めていただいた本、「ほめると子どもはダメになる」にも通じるどころがあり興味深いです。



クィーンズタウン近くのコンドミニアム

うちの子ども達は LEGO マンションと呼んでいます。
子どものブロックを想わせる外観のコンドミニアムです。日本人もたくさん住んでいます。

マリーナベイサンズ

ご存知の通り、宿泊者のみが屋上のインフィニティプールを利用できます。左手前にある手をイメージした白い建物は、アートサイエンスミュージアムで、日本のチームラボが常設で入っています。





チャイナタウンにあるパークロイヤルホテル

緑が多いホテルとして有名です。左下、2階建てバスが走っています。シンガポールのバスはとても安く0.7ドルから1.8ドル程度です。日本円では60円から150円程度。料金は距離によって異なりますが、1時間以上乗っても1.8ドルでした。

乗り方は、手を挙げて運転手さんにアピールします。そうしないと止まりません。

車内アナウンスもなく、街並みを見て降りるバス停の手前でボタンを押します。そうしないと止まりません。99%の人がカードで支払うので、乗降が非常にスムーズです。素晴らしく効率的です。



ブギス(アラブストリート)近くのビル

ハチの巣のような窓枠が印象的です。